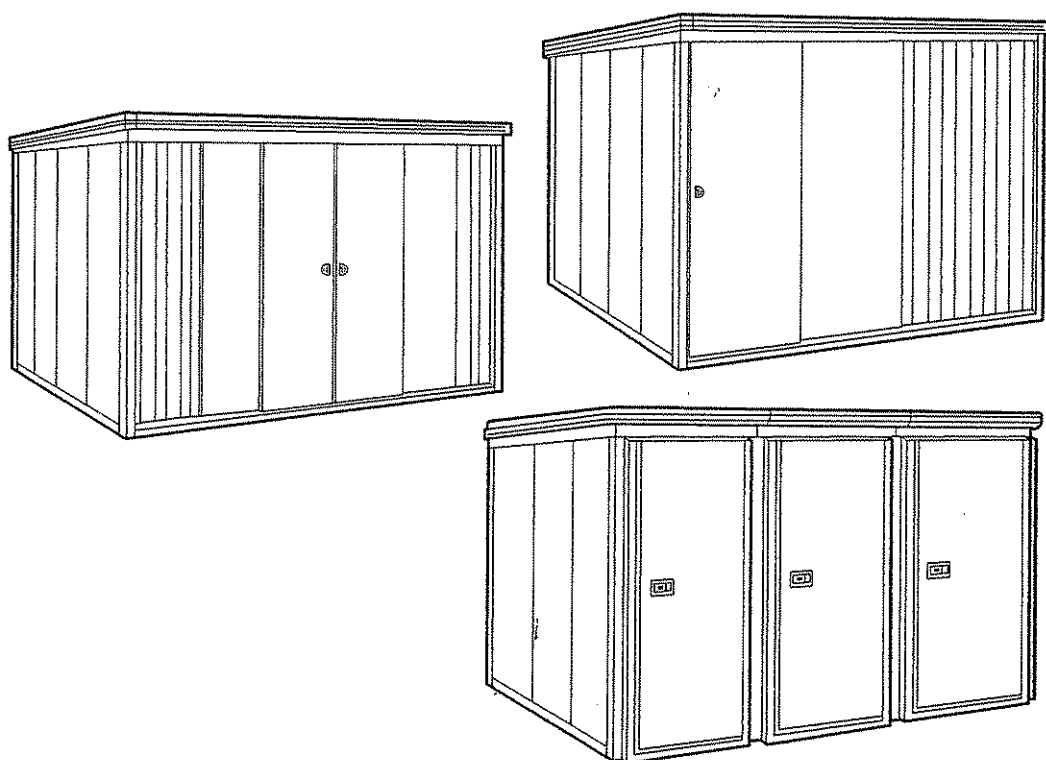
13.10集

ダイケン物置・DM-K・KR・KB・KL型

取扱説明書

ご使用の皆様へ

- このたびは、ダイケン物置をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- この取扱説明書は、物置の正しいご使用方法及びお手入れ方法などの説明を掲載していますので、ご使用前には必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- また、当説明書はいつでも使用できるように、大切に保管してください。

工事店・施工主様へ

- この取扱説明書をご使用になる方へ必ずお渡しください。

1. はじめに

- この取扱説明書は、物置をご使用になる方のために使用方法を説明したものです。

- 最初にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

- 当説明書中に記載している内容は大切な事です。必ず読んでお守りください。
  お守りいただかないと、思わぬ事故や怪我につながる事になります。
  また、物置本体や収納物をいためる場合があります。

下記事項を必ず記入し、保管してください。

購入年月日：　　　　年　　　月　　　日

購入店名：

機種名：　　　　　　　型

鍵ナンバー：

2．目　次

3. 安全にお使いいただくために

●物置のご使用前にこの「安全にお使いいただくために」をよく読み、理解してから使用してください。

●安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、本取扱説明書では次のようなシンボルマークとシグナル用語で危険のレベル分けをしています。

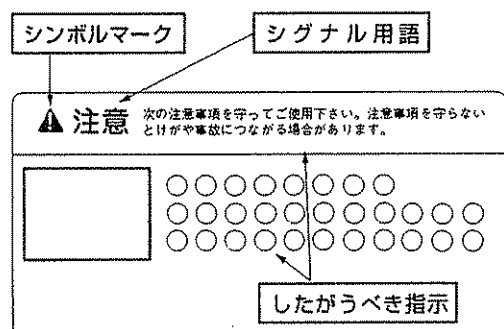
⚠危険 取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性（切迫の度合い）が高い限定的な場合（高度な危険を含む）。

⚠警告 取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。

⚠注意 取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

「必ずしてほしい行為」を表します。

「禁止」を表します

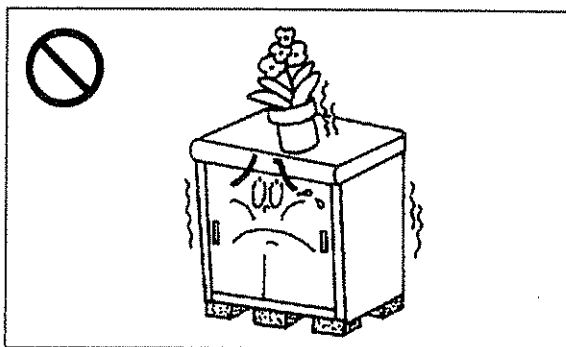
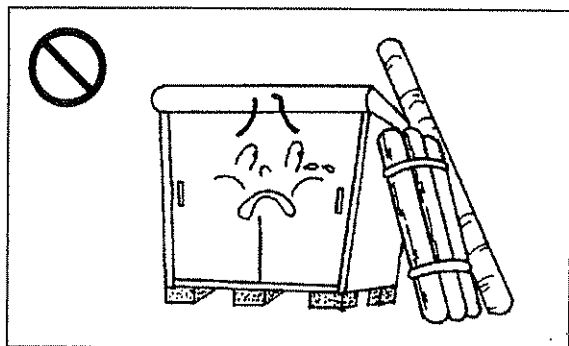
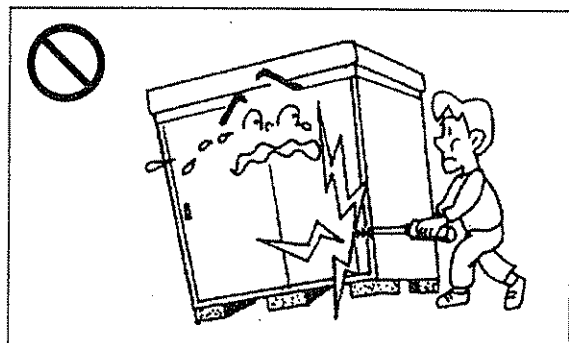
本文では以下のように使用します。

「シグナル用語」に続くしたがうべき指示を十分守らないと、人身事故につながることになります。

安全な使用の為に

⚠ 注意 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

屋根の上に物を載せたり、乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
※転落により、ケガをする場合があります。又、物をのせると落下する事もありケガ、破損の原因になります。

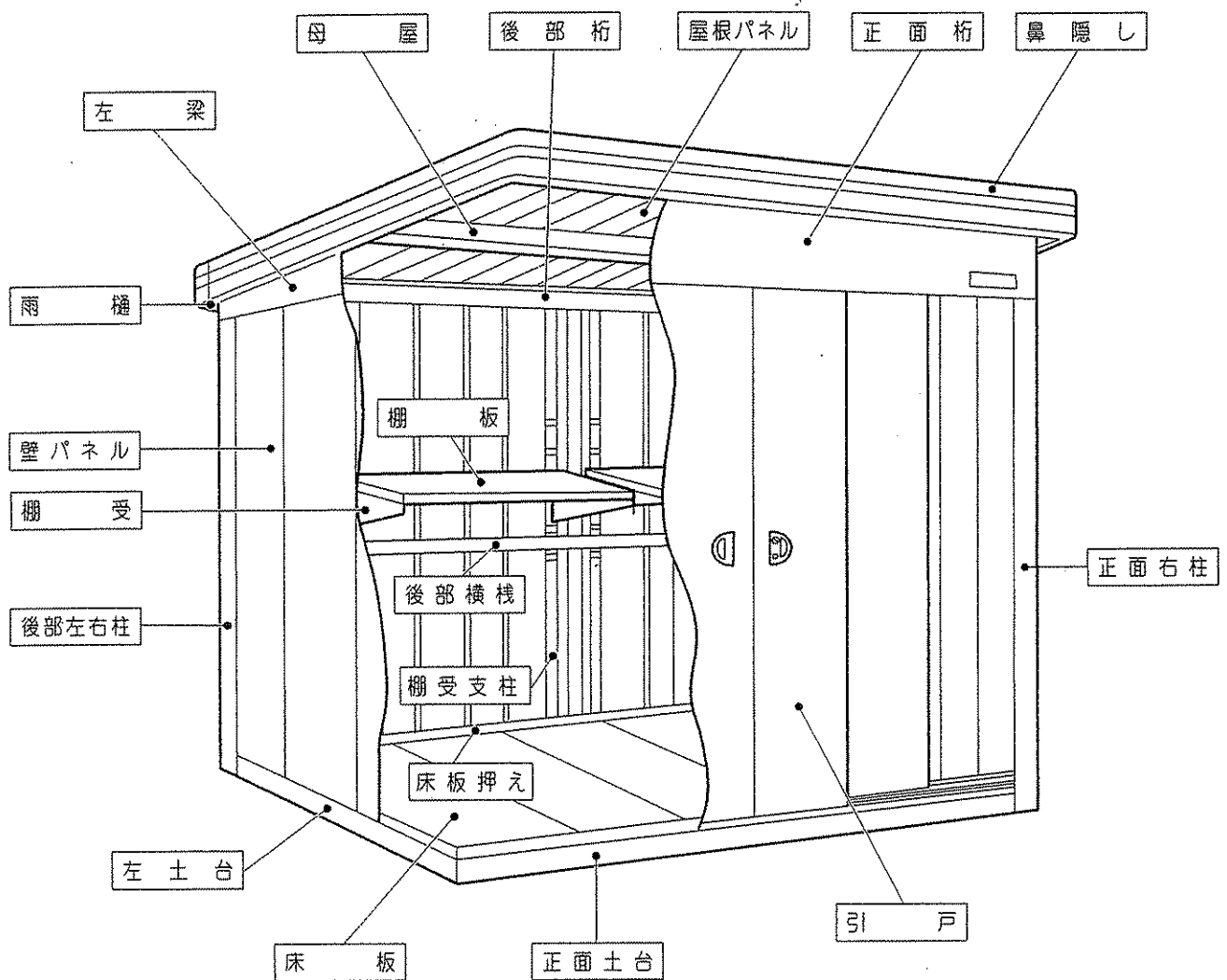
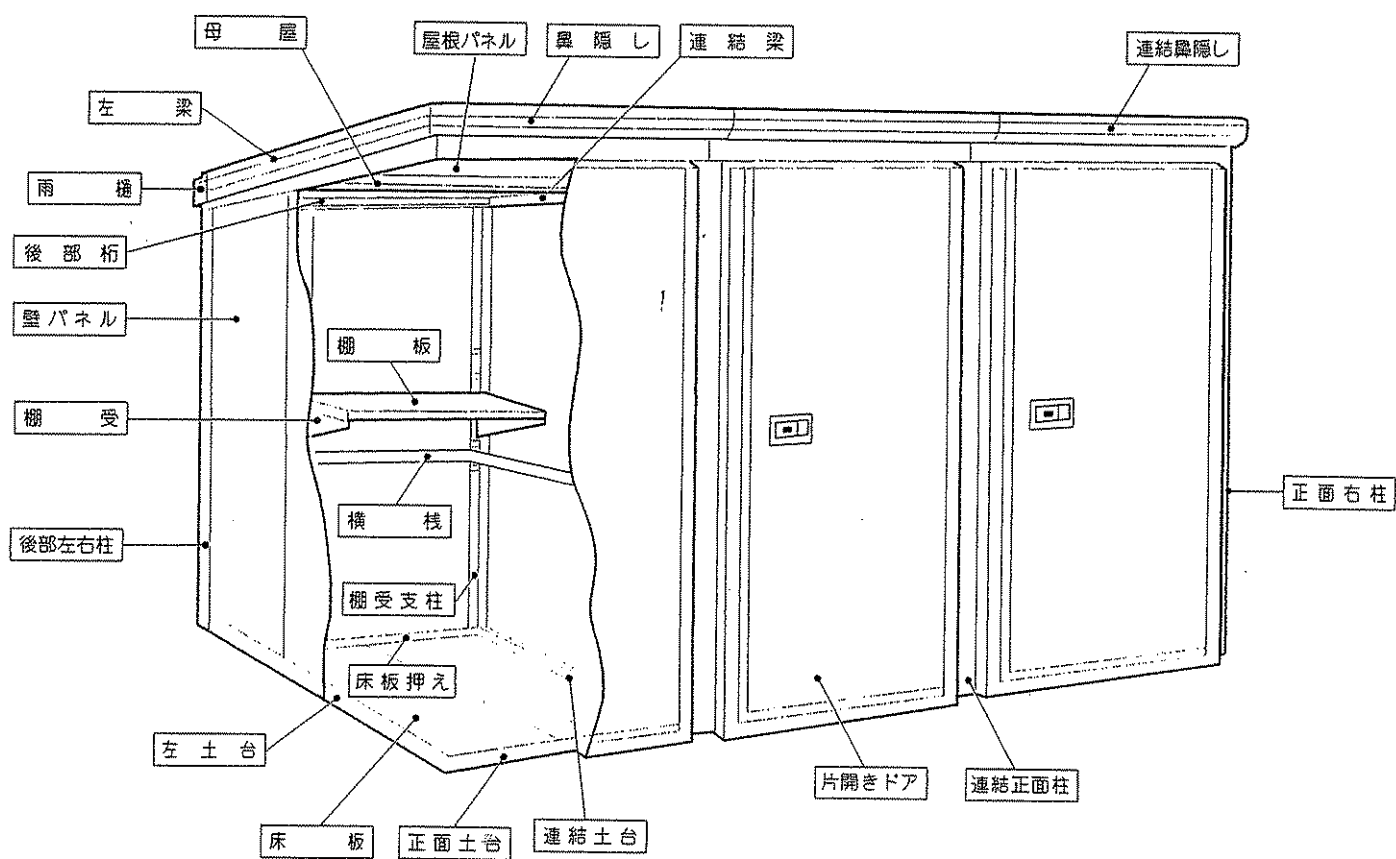
外壁にものを立てかけないでください。
※強風などにより、たおれて危険です。又、腐食の原因になります。

改造しないでください。又、電気配線は専門業者にご相談下さい。
※物置本来の性能を損ない、ケガ、破損の原因になります。

物置は本来品物の収納に使用されるものです。子供の遊び場など他の目的に使用しないでください。

物置の中に人がいる場合は鍵をかけないでください。

4. 製品の概要

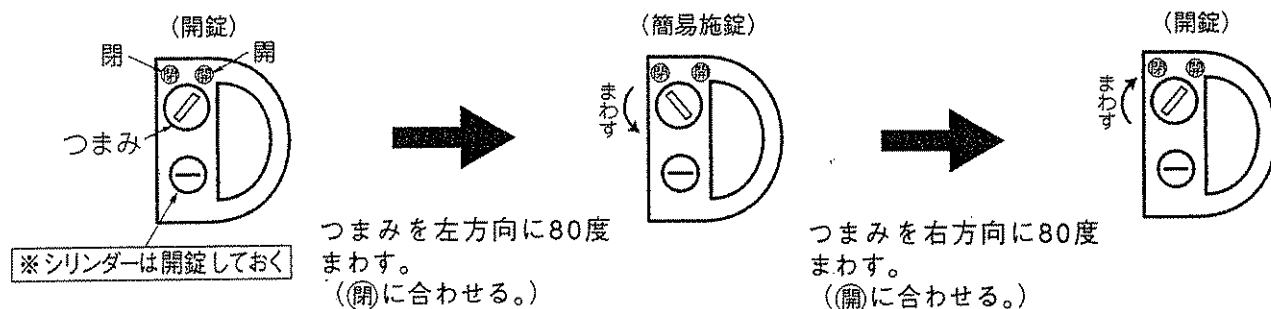
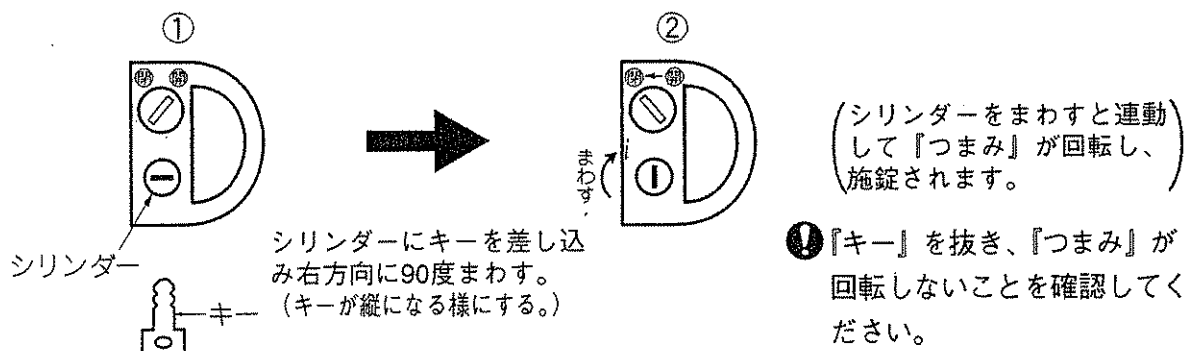
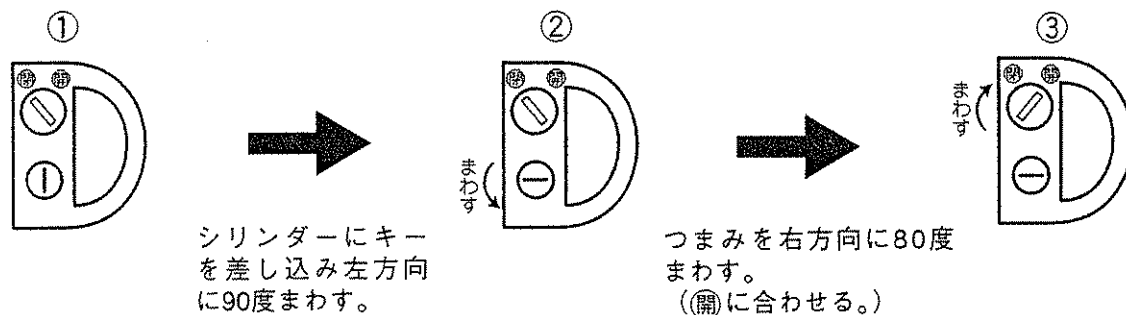
各部の名称

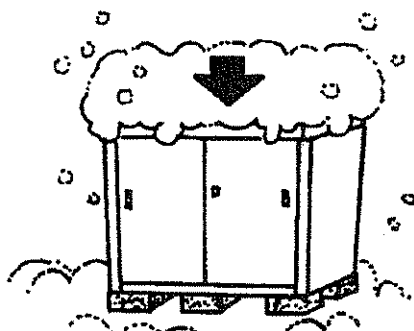
DM-K・KB型

DM-KR・KL型

母屋
屋根パネル
鼻隠し
連結梁
連結鼻隠し
左梁
雨樋
後部桁
壁パネル
棚板
棚受
横桟
後部左右柱
棚受支柱
床板押え
左土台
床板
正面土台
連結土台
片開きドア
連結正面柱
正面右柱

錠前について

この物置の錠前は『簡易的に施錠する』場合と『確実に施錠する』場合の2通りの仕様となっております。使用方法をよくお読みのうえご使用ください。

●簡易的に施錠・開錠する場合

●確実に施錠する場合

●確実の施錠状態から開錠する場合

各部の強度

	積　雪　強　度	
K DM-KR型 KB	一般型	60cm以下
	多雪型	100cm以下
DM-KL型		100cm以下

屋根の強度

積雪強度は下記の強度に耐えますが、安全のため雪降しは早めに行ってください。

製　品　名		積　雪　強　度	雪降しの目安
K DM-KR 型 KB	一般型	1176N/m² (120kgf/m²)	30cm以下
	多雪型	2940N/m² (300kgf/m²)	50cm以下
DM-KL型		2940N/m² (300kgf/m²)	50cm以下

※許容加重を超えた場合、物置の変形、破損により、ケガ又は収納物の破損などの事故の原因となります。

⚠注意

棚の強度

棚板強度は大きさにより、許容荷重が異なります。下記の荷重以上は物をのせないでください。又、物をのせる時は、静かに置いてください。

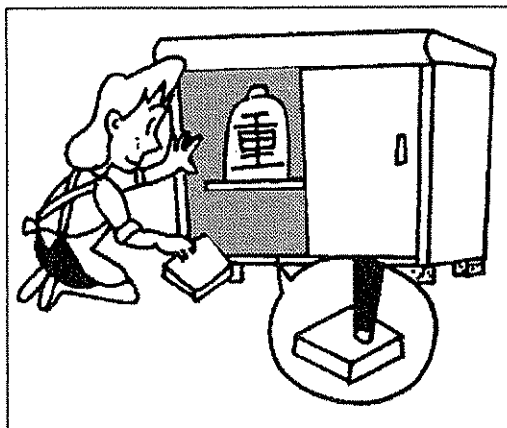
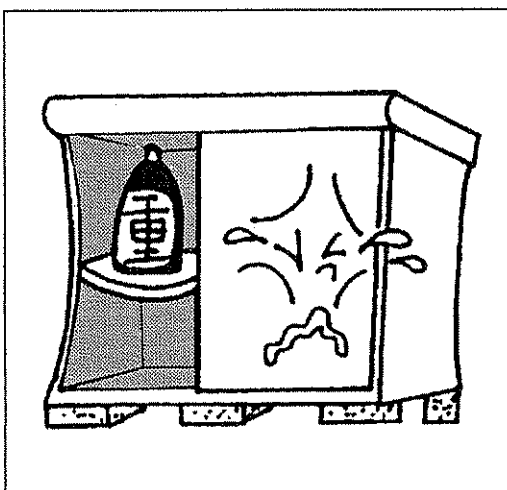
製品名	棚板（幅×長さ）	1枚の許容加重
K DM-KR型 KB	棚板　8型390mm×　800mm	588N(60kgf)以下
	棚板 12型390mm×1200mm	882N(90kgf)以下
DM-KL型	棚板　6型390mm×　690mm	490N(50kgf)以下

※棚の変形及び破損による、収納物の落下にてケガや収納物の破損などの事故の原因になります。

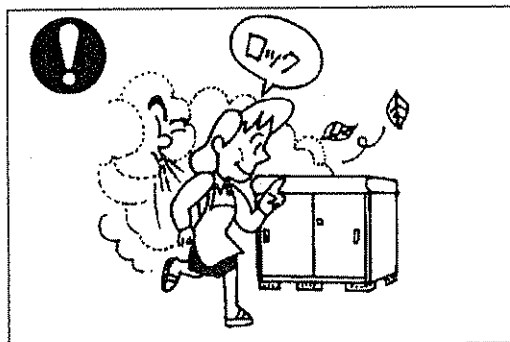
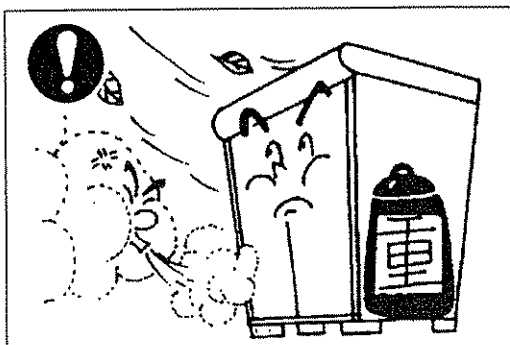
⚠注意

床の強度

床の強度は、物を均等に置いた状態で4410N/m²(450kg/m²)に耐えます。

尚、重量のある脚付の収納品は脚の下に15～20cm角の丈夫な板を敷いてください。

5. ご 使 用 方 法

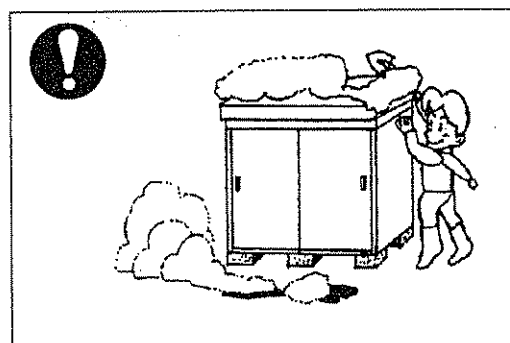
通常時の使い方について

⚠ 注意　次の注意事項を守って使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。
※施工の際には必ずアンカー工事を行ってください。

⚠注意

台風や強風時には

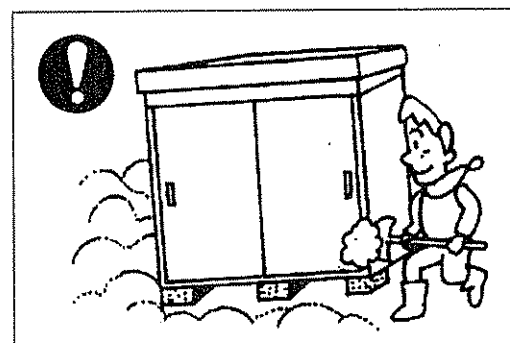
①床に重い物を置いて、物置が動いたり転倒したりしない様にしてください。

②物置の中に風が吹き込まぬ様ドアを閉めて必ず鍵をかけてください。

※強風によりドアが開いてはずれると、収納物又は部材の飛散、転倒することがあります。

⚠注意

積雪時には

①脚立などを使ってケガのない様安全に雪降しを行ってください。
危険ですので屋根に乗らないでください。

②物置の周囲の雪は適時、除雪してください。

収納の仕方について

○物置は鉄板製の為、季節の変化や、地域差、又は気候により、庫内は温度、湿度、ほこり、結露などの影響を受ける場合があります。

お　願　い

(1) ドアを開けて庫内の換気をしてください。
季節または地域により、庫内がむれたり、結露する場合があります。

(2) 衣類など湿気やほこりを嫌う収納品はビニール袋などに入れてください。

(3) 電気製品は必ずダンボール箱に入れて収納してください。
ほこりや湿気から電気製品を保護してください。

(4) 危険物は収納しないでください。

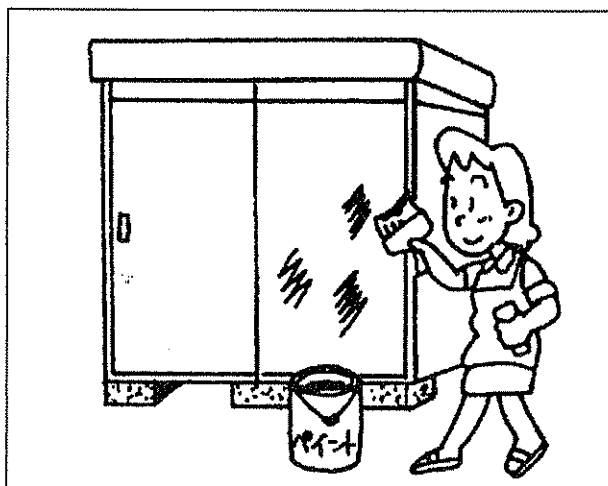
(5) 漬物樽等は塩分により、サビの発生原因になりますので受け皿の上に樽を置いてください。

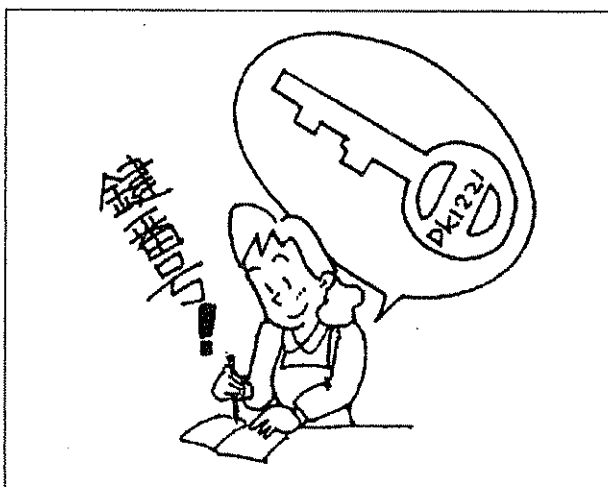
(6) 肥料や農薬など化学肥料類もサビの発生原因になりますので、床面に散乱しない様にしてください。

6. お手入れ方法

庫内がムレたり、結露した時は扉をあけて、風通しを良くしましょう。

錆が発生したときはサンドペーパーをかけ、水や汚れをふき取って、塗料を塗ってください。

屋根や雨樋及びドアのレールには枯葉やゴミ・ドロ・小石などがたまります。
定期的に掃除して下さい。

鍵の番号は本説明書の１ページにひかえておきましょう。又、鍵を紛失したときは、お買い求め先にお申し出ください。

汚れたら水洗いやワックスがけなどをしましょう。

7. 修理のご案内

- 修理に関するお問い合せは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- 製品に関するお問い合せ又は万一不都合な点については、下記の弊社営業所へご連絡ください。

- 商品をより長く安全に使用していただく為、修理用として取替パーツを保有しております。本書の『製品の概要・各部の名称』を参照してパーツの名称を確認願います。但し、取替パーツは生産中止後10年間の保有となりますので予めご了承願います。

住宅関連製品総合メーカー
DAIKEN 株式会社ダイケン

		TEL	FAX
本　　社	〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号	TEL (06) 6392-5321	FAX (06) 6397-8600
エクステリア事業部	〒285-8650 千葉県佐倉市青菅1042-12	TEL (043) 487-6111	FAX (043) 487-4413
東京支店	〒130-0024 東京都墨田区菊川1丁目12番5号	TEL (03) 3633-6551	FAX (03) 3633-6556
大阪支店	〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号	TEL (06) 6392-5556	FAX (06) 6395-8257
旭川営業所	〒079-8418 旭川市永山八条5丁目1番地17号(アメニティープラザA-4号)	TEL (0166) 48-7740	FAX (0166) 48-6855
札幌営業所	〒060-0005 札幌市中央区北5条西1丁目1番地1号(日通ビル6階)	TEL (011) 232-3017	FAX (011) 232-4825
盛岡営業所	〒020-0832 岩手県盛岡市東見前第9地割字古館78番地	TEL (019) 637-8241	FAX (019) 637-8243
仙台営業所	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町3丁目6番36号	TEL (022) 235-4380	FAX (022) 236-6894
埼玉営業所	〒331-0051 さいたま市櫛引町1丁目411番地（グリーンヒル櫛引）	TEL (048) 667-9381	FAX (048) 667-9385
千葉営業所	〒285-8650 千葉県佐倉市青菅1042-12	TEL (043) 489-1481	FAX (043) 489-1799
神奈川営業所	〒220-0023 横浜市西区平沼1丁目5番7号	TEL (045) 316-3901	FAX (045) 316-3904
静岡営業所	〒422-8036 静岡市敷地2丁目9番20号	TEL (054) 237-5375	FAX (054) 237-6982
名古屋営業所	〒491-0822 一宮市丹陽町伝法寺4360-9	TEL (0586) 77-7561	FAX (0586) 77-7452
岡山営業所	〒709-0614 岡山市竹原2186	TEL (086) 297-9100	FAX (086) 297-7412
福岡営業所	〒811-2205 福岡県粕屋郡志免町大字別府（亀山工業団地内）	TEL (092) 935-9731	FAX (092) 936-2329
広島出張所	〒730-0804 広島市中区広瀬町5番17号（第一中野ビル）	TEL (082) 294-9181	FAX (082) 294-0331
東京西出張所	〒207-0015 東京都東大和市中央4丁目962-12-101	TEL (042) 567-1338	FAX (042) 567-1366
工　　場	室蘭・千葉・十三・兵庫・岡山・津山		